



東京ミッドタウン・デザインハブ
〒107-6205 東京都港区赤坂 9-7-1
ミッドタウン・タワー5F

Tokyo Midtown Design Hub
5th floor, Midtown Tower,
9-7-1 Akasaka, Minato-ku,
Tokyo Japan 107-6205

TEL 03-6743-3776
Fax 03-6743-3778
<http://www.DesignHub.jp>
info@designhub.jp

2007年11月15日
社団法人日本グラフィックデザイナー協会/JAGDA

東京ミッドタウン・デザインハブ第7回企画展 「POST 切手～郵便が変わり始めた。切手のデザインはどう変わる。」 開催のお知らせ

国際的なデザイン情報の発信の新拠点である東京ミッドタウン・デザインハブ(構成機関:財団法人日本産業デザイン振興会、社団法人日本グラフィックデザイナー協会、九州大学・芸術工学東京サイト)では、第7回企画展となる「POST 切手～郵便が変わり始めた。切手のデザインはどう変わる。」を、2007年12月14日(金)～2008年2月3日(日)まで開催いたします。

誕生してから160年以上の歳月が流れる「切手」。今や郵便物は切手を貼ってポストに投函するだけでなく、さまざまな方法で送ることが可能になりました。それでも切手を一枚一枚選んで貼って送る人は数多く存在します。機能的な価値だけでなく、送る人の気持ちを伝える情緒的な価値を持つ「切手」。今でも多くの人に愛され続けている「切手」。折しも郵政民営化で、郵便事業自体が変わり始めました。そんな中、「切手」のデザインはどう変わっていくのでしょうか。

全国のグラフィックデザイナー約2,500名が参加する(社)日本グラフィックデザイナー協会(略称JAGDA)は、その小さなグラフィックに注目しました。今まで発行された数々の美しい「切手」に敬意を表しつつ、会員デザイナーが新しい切手のデザインにチャレンジします。新たな感動を伝える小さなグラフィックデザイン「切手」の展覧会に、是非ご期待ください。

●企画概要

タイトル: POST 切手～郵便が変わり始めた。切手のデザインはどう変わる。

英文タイトル: Post Stamps

The Japanese postal service has begun to change.
But how will postage stamps evolve?

会 期: 2007年12月14日(金)～2008年2月3日(日) 11:00～19:00
※2007年12月31日(月)～2008年1月3日(木)休館

会 場: 東京ミッドタウン・デザインハブ(東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F)

入場料: 無料

展示作品: 約200点

展示1: 全国のJAGDA会員より公募した「テーマ切手」(約200点)

展示2: JAGDAの選抜会員が提案する新しい「普通切手」(22点)

※今回展示する切手作品は、実際に購入・使用できるものではありません。

●お問い合わせ

社団法人日本グラフィックデザイナー協会/JAGDA

港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F 〒107-6205

Tel. 03-5770-7509 Fax. 03-3479-7509 URL. <http://www.jagda.org>

企画担当: 近藤(hub@jagda.org) 広報担当: 工藤(kudo@jagda.org)

●**展示内容** ※今回展示する切手作品は、実際に購入・使用できるものではありません。

展示1:全国のJAGDA会員より公募した「テーマ切手」(約200点)

テーマ切手／ デザイナーがそれぞれ自分の好きなテーマを設定し、そのテーマに従ってオリジナルの切手をデザインしました。本物の切手に「テーマ切手」という種類はありませんが、「記念切手」や「シリーズ切手」よりも自由度の高いテーマで表現したこれらの切手を、独自に「テーマ切手」と名付けました。

展示2:JAGDAの選抜会員が提案する新しい「普通切手」(22点)

普通切手／ 日本の切手は大きく分けて、「普通切手」と「特殊切手」の2種類があります(「記念切手」や「シリーズ切手」などは「特殊切手」に含まれます)。「普通切手」は現在、1円から1,000円まで、22種類の金額のものが生産・販売されています。その22種類の金額を22名のデザイナーが1種類ずつ担当し、新しい「普通切手」をデザインしました。

出品者(50音順)／青葉益輝、浅葉克己、安西水丸、井上嗣也、勝井三雄、上條喬久、小島良平、佐藤晃一、佐藤 卓、U.G.サトー、佐野研二郎、澤田泰廣、戸田正寿、永井一正、仲條正義、長友啓典、中村 誠、服部一成、福田繁雄、松永 真、矢萩喜従郎、若尾真一郎

●**カタログ**

体裁： A4・カラー・約150ページ・全出品作品を掲載
発行部数： 1,000部
販売価格： 3,000円(予定)

●**クレジット**

主催： 東京ミッドタウン・デザインハブ
企画・運営： 社団法人日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)
特別協賛： 凸版印刷株式会社
用紙協力： 株式会社竹尾
協 賛： 株式会社コイル、株式会社電通、株式会社中川ケミカル、株式会社日本デザインセンター、ハグルマ封筒株式会社、株式会社モリサワ、ユポ・コーポレーション
協 力： 東京リスマチック株式会社
お問い合わせ： 社団法人日本グラフィックデザイナー協会/JAGDA
Tel. 03-5770-7509 Fax. 03-3479-7509 hub@jagda.org



告知用ビジュアル
デザイン:中西“サビ”一志

●**ご参考**

社団法人日本グラフィックデザイナー協会/Japan Graphic Designers Association Inc.

日本で唯一のグラフィックデザイナーの全国組織として1978年に設立。略称「JAGDA(ジャグダ)」。

会長・福田繁雄。国内外に約2,500名の会員を擁する、アジア最大のデザイン団体。年鑑やデザイン教科書などの出版、展覧会やイベント・セミナーの開催、デザインの権利保護やデザイン料金に関する取り組み、デザインによる地域振興や行政からの委託事業、国際交流など、多岐にわたる活動を全国的に展開しています。

<http://www.jagda.org>

東京ミッドタウン・デザインハブ/Tokyo Midtown Design Hub

日本産業デザイン振興会(JIDPO/会長:山口信夫)、日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA/会長:福田繁雄)、九州大学・芸術工学東京サイト(G-PARN/芸術工学研究院長:安河内 朗)、海外の6つのデザイン研究教育機関による国際ナショナル・デザイン・リエゾンセンターから構成され、デザインプロモーションや学術研究などそれぞれのもつ機能を有機的に連携させることで、デザインを媒介した交流や多様な領域間での連携、デザイン人材の育成などを司る拠点です。

<http://www.designhub.jp>